

2003年 3月30日 主日礼拝 (洗礼式)

司 会 二見兄 多田哲兄 滝山兄
奏 楽
賛 美 聖歌485
使徒信条
主の祈り
賛 美 聖歌717 (主がここにおられます)
リトルエンジェルズ
祈 禱 水間兄 多田兄 川田兄
聖 書 ヨハネによる福音書2章1～11節
音 楽 北島 美佐子姉
宮田 四郎兄
メッセージ 「人生は結婚式のようなもの」 中野雄一郎師
賛 美 明日はどんな日か(献金)
祝 禱

『神を愛するとはすなわち、その戒めを守るということである。』
そして、その戒めはむずかしいものではない。』
(第一ヨハネ五の二三)

【大和ニュース】

- ・本日は、ハワイから中野雄一郎先生をお迎えできて感謝です。
- ・受洗おめでとう！ 宍戸姉(ハンナ会) 小林兄(アブラハム会)
高橋姉(シンガポール) 中本姉(シンガポール)
- ・転入会者を歓迎します。 宮崎姉(学生会)。
- ・本日、子聖、手話、学生会、ゴスペルクルー等、役員会は中止。
- ・本日12時半より、地下ホールにおいて、青年会、カレブ会、ヨシュア会合同賛美集会有ります。「賛美を楽しむかい？」
- ・今週も祈禱会を大切に！ 聖餐式も行います。
- ・来週から、毎日曜4時～5時「英語礼拝」を始めます。担当は岡村宣教師。
奉仕にご協力くださる兄弟は、岡村師又はスタッフまで。入場無料。
- ・土曜祈禱礼拝は、夜8時～9時。説教は、井澤師。

公告：法人登記簿謄本記載事項の変更について。

* 詳細はロビーの掲示板の公告をご覧ください。

石の枕

先週、映画「戦場のピアニスト」を観た。その夜、米アカデミー賞主演男優賞を、ピアニスト役をしたA・プロディが獲得したので、興奮が倍となった。

スピーチの終了を促す音楽を「ちょっと待って」とさえぎって話し続けた彼は、受賞以上に輝いていた。涙ながらに「あの映画に出ることで、戦争が人をいかに非人間的にするかがよくわかった」と語っていた。

この映画で監督賞を受賞したR・ポランスキーは子どものころ、映画の舞台になったポーランドのゲットー(ユダヤ人居住区)で暮らしたことがあり、両親は収容所送りになった。映画にはその経験が十分に反映している。

長編ドキュメンタリー賞を受けたムーア監督は、「でっち上げの理由で私たちが戦場に送り込むでっち上げ大統領、ブッシュよ恥を知れ」と叫び、会場を騒然とさせた。

受賞式に出席しなかったスターも多くいるが、わざわざ出席して堂々と反戦を訴えるなんて、この国はすごいなァーと思った。日本という国は、戦時中、発言の自由、信教の自由はなかった。恐ろしい時代を迎えてはいけない。「私を平和の道具として使ってください」とフランシスコの祈りを捧げたが、どのくらい具体的に「平和を作りだす人」としての行動ができるだろうか。現実の自分を見ると恥かしくも思い、なさげなくも思う。ただ主のあわれみにすがるほかなし、の心境である。

映画館で入場券を買おうとしたら、60才以上「シルバー割引」とあり、大ショックであった。せめて受付嬢が「免許証」でも見せてください、といってくれれば、少しは若く見えたのかなァーと安心するのに、顔パスで複雑な心の動きにまたショック。若者には、このデリケートな心は分らんだろうな?!

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ルカ7章～10章 Bコース:士師記1章～17章